

令和5年 新年号

あけましておめでとう

酒田市農業委員会報 No.65



「鳥海山の夜明け 兎が跳ねているような雲に見えませんか？」～八幡地区～

いしづか



酒田市農業委員会
会長
五十嵐直太郎

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

日頃より本市農業委員会活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨今の農業を取り巻く諸課題は、農業従事者の高齢化の進展や担い手の減少、豪雨や台風などの自然災害による被害、ウクライナ危機や円安進行により生産資材、肥料、燃油価格の高騰が追い打ちをかける形となっています。また、昨年5月に改正農業経営基盤強化促進法が成立し、「人・農地プラン」は法定化されて「地域計画」となり、更なる地域農業の見える化を図ることが求められています。

新しい年を迎え、本市農業の持続的発展のため、農業委員会一丸となって取り組んでまいりますので、本年もよろしくお願ひ申し上げます。

希望ある酒田農業 未来へ向けて 丸山市長との意見交換会



※撮影のためマスクをはずしています。

酒田農業を希望のある産業として未来へつないでいけるよう、農業振興の視点から、3つのテーマで丸山至市長と農業委員が意見交換を行いました。

(令和4年11月7日)

担い手の育成・確保

酒田農業で喫緊の課題である担い手の育成・確保について、2つの提案をした。

① 親元就農への支援

最近では就農スタイルも多様化し、法人就農・第三者就農も耳にするが、日本農業の9割以上が家族経営であることを踏まえると、親元就農は金の卵と言える。そこで、後継者へ経営継承をする際、親子の意見の相違をまとめスムーズに行うには第三者（コンサルタント）の関わりが必要である。それに対しての支援が親元就農をより定着させると考える。

② デイワーク等を活用した労働力の確保

農作業には作物の適期収穫や播種、田植えなど、どうしても労働力が必要な時期がある。現在、民間のデイワークではスマホなどで1日単位のバイトを募集できるが、人手不足を補うシステムは今後益々必要になってくると考える。

丸山市長

① 第三者を入れるやり方もあるが、親子であるからこそ納得するまで議論してもらいたい。今の親は若



い人の気持ち分かる世代だと思うので、適切なアドバイスができると思う。加えて若い世代の農業者は親子の他に、仲間同士で議論することが大事と考える。「サンロク（※1）」は地域を越えて同じ悩みを議論し合える場所がないという農業者の声から作った。そこで集まっているいろいろな議論をしてもらえばいい。そこに行政を巻き込んで、課題解決策を模索していく仕組みができるのでは。

② 令和3年度より県の農業労働力確保対策協議会の、1日農業バイトアプリの取組が始まっている。皆さんからもアプリの活用を広くPRしてもらうことが、労働力の確保と新たな担い手候補の確保に繋がると考える。

スマート農業

日々進歩しているAIやドローンなどを活用し、スマート農業を大規模化経営に実践利用する必要がある。正確かつ的確な施肥などによるコスト削減と、労働力削減を図り、新たな米づくりのスタートを踏み出す時期と考える。酒田には「スマート農業研修センター」・「もっけ田だのう農学校（※2）」がある。そこで学べるセンシング技術などの活用は、良質でバラツキの少ない米づくりに必要不可欠である。

先人が培ってきた高い栽培技術と、農業経営の基礎となる土壌の確保（土づくり）にも力をいれ、品質・収量ともに「米どころ酒田」の評価を確立するため、スマート農業への支援が必要と考える。



丸山市長

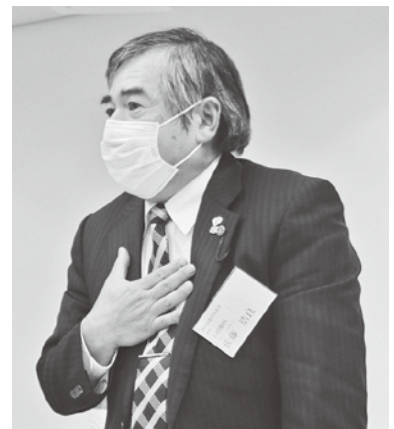
本市ではドローンによるセンシングで稲の生育や、土壌状況などを把握し、効率的かつ効果的な施肥を行う「データを活用した農業」に取り組んでいる。今後も農業者の理解が進むよう必要な施策を実施したい。

スマート農業研修センターは、センシングなどで取得した土壌データを、自身の農業経営に活用できる「農業人」を育てる核である。もっけ田農学校は、自分の農作業や圃場を見える化をしながら、技術を学ぶ場と共に情報交換の場にしてもらいたい。また、「サンロク」ではIT企業と連携して、酒田農業に使いやすいアプリなどの開発の可能性もあると思うので相談してもらいたい。

これからの酒田の水田利用

農業分野も今までのような燃料・資材・飼料など、海外に依存した生産体制は変更を余儀なくされ、食料安全保障の観点から生産体制変更のアプローチをかけなければならぬ。国内において十分な確保を持つ農産物は米と乳製品くらいであり、今後あらゆるものの不足が考えられ、しかも長期に渡ることを前提に農業生産を考えると必要がある。また、生産費の緻密な計算は、需要者との生産物の価値・価格を交渉決定するうえで重要な要素となっていくと思われる。

以上を踏まえて資材高騰にさらされる主食用米の価格は、再生産可能なものに維持したうえで、主食用米以外での水田利用を考えていきたい。



丸山市長

コロナ禍や国際情勢悪化などの影響により、農業に欠かせない肥料や飼料等の資材価格が全国的に高騰している。その対策として、国・県による肥料高騰に対する支援が予定されているほか、市でも肥料高騰相当額の経営支援を予定している。次期作に向けた農家の皆さんの不安を少しでも解消できるように尽力したい。主食用米の価格安定については、「生産の目安」の達成に向けて、引き続きご協力をいただきたいと考えている。

主食用米以外での水田利用については、農業再生協議会で、地域の作物の作付状況や地域が抱える課題を分析した上で、収益力強化に向けた産地としての取組方針などを「水田収益力強化ビジョン」として定めている。

※2 新規就農者や農業に興味のある方を対象に、水稲栽培の基礎知識の習得など受講生の目的に応じたカリキュラムを通して、米づくりの担い手を育成することを目的に、令和3年10月に開校。

キラリな女性

かがやく
女性農業者『酪農の世界にとびこんで』
鳥海高原デリーイファーム八幡 草津地区
今 野 ひいろ

私は鳥海高原デリーイファームで酪農の仕事をはじめてから一年が経ちます。元々、縫製会社で婦人服作りをしていましたが、学生時代の一日牧場体験で子牛にミルクをあげた時のことが忘れられず、思い切ってこの酪農の世界にとびこみました。

私の牧場での仕事は毎日牛の搾乳をしながら、牛の健康な成長をサポートすることです。

牛は毎日搾乳をしなければならず、牛の体には大きな負担がかかるため、病気になるたりしないよう、日々、ストレスの無い環境づくりを心がけています。それでも、時には具合の悪い牛に気づいてあげることができず、もっと早く牛

の変化に気づくことでできれば、もっと早く治療をしてあげられたのにと、自分の未熟さに悔しさを感じます。

牧場には様々な仕事があるのですが、その中でも私が好きな仕事は、牛の餌寄せです。牛が牛舎の柵から首を出して餌を食べている時、牛の首が届く範囲に餌が無くなると、食べやすいところへ餌を寄せてあげます。牛たちの美味しそうに餌を頬張る姿を眺めている時が、今の私にとって、心がほっこりさせられる、癒やしのひと時です。

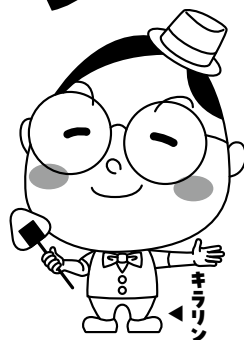
まだまだ未熟な私ですが、これからは先輩に教わったことをしっかりと身につけて、もっと牛の変化に敏感になりたいです。あと、苦手な重機の操作も克服できるように頑張ります。



農地に関するはてなを解消

教えて

キラリン



このコーナーでは、農地に関する素朴な疑問・質問に、キラリンがお答えします。

今号のテーマ

農地の貸借手続き

農地は農地として利用すること

Q 農地は農地として利用すること

田畑の貸し借りをすることになりました。何か手続きしなければなりませんか？



田や畑を耕作する目的で貸し借りする際は、貸し手（地権者）、借り手（耕作者）

双方が、農業委員会です手続きする必要があります。①農地法第3条による許可申請と、②農業経営基盤強化促進法による利用権設定等の申し出があります。

①農地法第3条による許可申請

貸借期間満了前に解約の意向がない場合、契約は自動的に更新されます（無償の使用貸借契約は、期間満了で終了）。

②農業経営基盤強化促進法による

利用権設定等の申し出

①と違って、貸借期間満了によって契約は終了します（自動的に更新はされません）。

Q 貸し借りの許可をする時の判断基準を教えてください？

農業委員会では、次の基準により、許可または不可の判断をしています。

○全部効率活用要件

申請農地を含め、所有している農地または借りている農地のすべてを効率的に耕作すること

○農業常時従事要件

農地の取得者が、必要な農作業に常時従事（原則、年間150日以上）すること

○地域との調和要件

水利調整に参加しないなど、周辺の農地利用に悪影響を与えないこと

○下限積要件*

原則、取得後の経営面積50㎡以上（②は10㎡以上）

○農地のことは

市農業委員会事務局

TEL 26-5767



かぜ

～若手農業者リレーエッセー～



小学生だった私の夢は「農家の大社長になること」でした。水稲農家の長男に生まれ、ようやく小学生のころの夢を叶えることができた私は、今年で就農3年目になります。

就農するにあたり、父親から「まずは3年、1年目は経験、2年目は疑問を持つ、3年目は自ら改善を行う」とアドバイスを受け、3年目をやり切った今、ようやく農家の入り口に立たと考えています。

これまで農業と向き合い、小学生のころに思い描いた夢をより具体化したものが2つあります。

1つ目は、地域の先輩農家と父親からの事業承継です。今まで地域農業を支えてきた、先輩方の匠の技術と目的を承継し次世代につなぐこと。昔ながらの技術を絶やさず、伝統として次

次世代へバトンを繋ぐために

八幡地区(松原南在住) 小松孝広

世代に繋ぐバトンの役割を担っていきたくと思っています。

2つ目は、農業の魅力の発信です。これは、小学生だったころの私のように、農業が将来の職業として選ばれる未来を実現するために必要な要素になります。当たり前のことですが農家の数だけ多種多様なやり方

があり正解はありません。私自身、模索している最中ではありますが、後世に向け稼げる農業、多収化栽培の体系化を目標として自身自身が1つのモデルケースとなりその情報を惜しみなく共有していきたくと思います。

現在この2つの夢を具体化するために、農業に関する勉強会、各コミュニティへの参加を行い、知見を深めているところでありますが、承継した技術をもとに温故知新の精神を忘れず、これからの農業を築き上げていきたくと思います。



農業者年金に加入しましょう

老後の生活をしっかりサポートします。
農業に従事する方なら、広く加入いただけます。

*** 農業者年金のメリット ***

- ① 少子・高齢化時代に強い積み立て方式
- ② 保険料の額は自由に決められます
- ③ 終身年金で80歳までの保証付き
- ④ 保険料は全額社会保険料控除
- ⑤ 保険料に国庫補助も(要件があります)

全国農業新聞 農家の経営とくらしに役立つ情報を農業者の視点でお届けします

- 発行日 毎週金曜日
- 購読料 1か月 700円

※お申し込みは農業委員会へ

～世代を超えて食べて守ろう 伝統野菜～

～酒田の在来作物を紹介～

『アサツキ』

アサツキはもともと北海道から本州、四国にかけて広く自生しているネギ属の植物。全国的には山菜として利用されていますが、庄内では昔から栽培されていて、青物の少ない冬から早春期の貴重な生野菜として利用されてきました。

庄内地方では通称「キモド」とも呼ばれ、従来は雪に覆われた畑から収穫した黄色い新芽がそのまま利用されていましたが、最近では新芽を緑色に育てたものが多く出荷されています。

豚肉や魚料理と組み合わせると食べると新陳代謝を活発にし、疲労回復に効果があるといわれています。



農業一筋

農業委員会がおじゃまして

お聞きしました！

亀ヶ崎地区

児玉 昭一 静子 ご夫妻



昭一さん（73歳）、静子さん（71歳）ご夫妻を訪ねた日、自宅裏にあるハウスには手塩にかけて

育てたブドウ「甲斐乙女」がたわわに実っていました。その他に「シヤインマスカット」「藤稔」を栽培している昭一さんは「ブドウ栽培は独学。試行錯誤したなあ」と振り返ります。

現在、お二人は約80坪の畑を担当していて、年間約40品目の作物を栽培しています。在来作物である鵜渡川原きゅうり、カツオ菜、チヂミ菜も栽培していて、三種類を栽培している農家は珍しく、今まで何度もテレビや新聞などの取材を受けているそうです。

「若い時は何でも挑戦した。必ず役に立つ時が来るから挑戦するこ

とが大事」と話す昭一さん。挑戦を続ける農業以外にも、危険物取扱者など多数の資格を持ち、自動車学校指導員は昭和51年から始めて今も声が掛ければ指導を行っています。

一方、亀ヶ崎の女性農業者グループ「ミセスみずほの会」など多数のグループで活躍されてきた静子さん。「農業はいろいろ話せる仲間づくりが大事。グループで協力すれば長続きする。」と話してくれました。

「亀ヶ崎のひげの昭ちゃん」と親しまれ、知らない人はいないという昭一さんは、今でも地域では頼られる存在。これからの農業については「亀ヶ崎は若い担い手が育っていて互いに協力し頑張っている。我々も1年1年頑張りたい」とのこと。

これから元気でご活躍ください。（兼山宏勝 委員）



おしらせ

令和5年度 酒田市参考賃借料10アール当たり

| 農地 | 区分 | 令和5年度 | 令和4年度 | 基準収量 |
|----|----|---------|---------|-------|
| 田 | 1 | 10,000円 | 11,000円 | 600kg |
| | 2 | 8,000円 | 9,000円 | 580kg |
| | 3 | 5,000円 | 6,000円 | 550kg |
| | 4 | 2,500円 | 3,000円 | 520kg |
| | 5 | 1,000円 | 1,000円 | 480kg |
| 畑 | | 3,000円 | 4,000円 | |

酒田市農地集積センター 参考賃借料検討協議会 作成

※右表はあくまでも参考ですので、委託者・受託者双方で相談して決定してください。
 ●令和5年度の参考賃借料は、検討協議会で、近年の米価低迷と生産費（肥料・燃油など）の高騰などを考慮して決定しました。
 ●中間管理事業等で「参考賃借料に準じて清算する（スライド）」を適用して賃借契約している方もご確認ください。

詳しくは…農業委員会 ホームページ



編集後記

先日、機会あって東京都のとある区役所職員の方々と割烹料理屋さんで一席囲みました。皆さん「料理がおいしい！」「お酒がうまい！」「どこで買えますか？」と大変喜んでいらっしゃいました。

その料理のコースにはご飯が無かったのですが、どうしても酒田の米が食べたい！という事で、つや姫をどんぶりに少しよそってもらいました。すると皆さんでどんぶりをまわして味見して、「いや〜うまい！ご飯だけでイける！」「お米作っているんですね？注文していいですか？」と大好評。農家として嬉しいばかりです。

中には釣り好きの方もいて、「酒田は釣り場が近くていいですね〜」といわれたので「酒田では毎日釣りしてから仕事に行けるよ！」（多少誇張が入っています）というと、目を輝かせて「私、酒田に移住します！」と市職員の募集欄を検索しはじめました。住みたい田舎ランキング全国1位は伊達じゃないですね。（兼山宏勝）